

ばね指の手術治療

エコーガイド下経皮的腱鞘切開術について

ばね指は、指を曲げ伸ばしする際に「引っかかり」や「痛み」が生じる病気です。

当科では、保存的治療で症状の改善がみられない場合に、

エコー（超音波）と専用のガイド・ナイフを用いた低侵襲な手術治療を行っています。

この治療の特徴

- ・ **約2mm**の小さな皮膚切開で行います
- ・ エコーで腱鞘を確認しながら行うため、**安全性が高い治療**です
- ・ **傷が小さく、回復が早い**のが特徴です
- ・ 多くの場合、手術翌日から水道水での手洗いが可能です



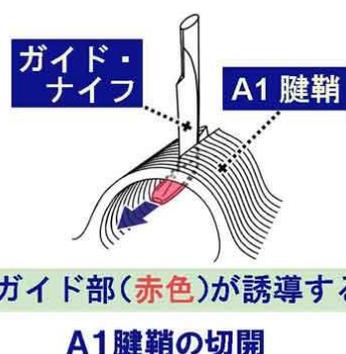
右 3,4 指術後翌日

従来の**2～3cm切開する手術**と比べ、皮膚や周囲組織への負担が少ないことが大きな特徴です。

対象となる方

- ・ ばね指の症状が続いている方
- ・ 注射や保存治療で改善が乏しい方

※関節の変形が強い場合など、症状によっては適応とならないことがあります。



手術の流れ（概要）

- ・ 事前に診察やレントゲン検査で適応を確認します
- ・ 局所麻酔で行います
- ・ エコーで確認しながら腱鞘を切開します
- ・ 通常、皮膚の縫合は不要です

※詳しい流れや注意点については、診察時に丁寧にご説明します。

※診察後に、手術を行うかどうかを決めていただけます。

合併症・注意点について

どのような手術にも、感染、血腫、しびれなどの合併症が起こる可能性があります。

当科では十分に注意して手術を行いますが、**100%安全な手術は存在しない**ことをご理解ください。

また、手術中の状況により、**通常の切開手術へ変更する**場合があります。

他の治療法

症状によっては、以下のような保存治療を行うこともあります。

- ・ 安静
 - ・ 内服薬
 - ・ ステロイド注射
 - ・ リハビリテーション
-

その他

- ・ **1泊2日の入院手術**で行っています
- ・ 仕事は内容によっては退院後すぐに可能ですが、次回診察まで**傷の保護**をお願いします。